

「生きたい」という心の声に、耳を傾けて。

「いのちの電話」が、 いま抱えていること。

～「広島いのちの電話」にお話をお聞きしました～



生きづらさや孤独に苦しむ人たちの大切な“心の拠り所”を守りたい

悩みを抱え、孤立した人たちの心の声に耳を傾ける「いのちの電話」。コロナ禍で人々の孤立感が高まり、また有名人の自死が相次いで報じられ、近年その存在意義があらためて見直されました。しかし、一方で「いのちの電話」では、全国共通の課題を抱えています。その1つが相談員の減少。「広島いのちの電話」におけるここ数年の相談員数の推移を見ても、2018年には150名弱いた相談員が、2022年には100名前後までに減少。1日の着信のうち、相談員につながる件数はたったの5～6%とのこと。加えて相談員の高齢化に伴う体調不良や夜間対応への難しさ、あるいは介護など家庭の事情も加わって、運営の維持そのものが困難に直面しています。

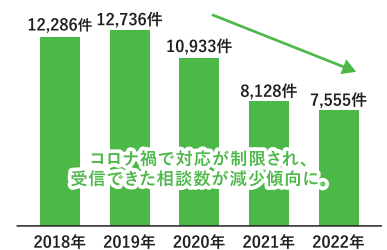
さらにコロナ期間中は、相談室においても密を避ける感染予防対策を徹底したため、全体の受信件数そのものが減少してしまいました。感染不安や経済不安などの相談ニーズはありながらも、対応で

きる件数が制限されてしまったのです。

また、コロナによる不景気から個人・法人からの寄付金も激減。その分ボランティアである相談員に大きな負担がのしかかっています。運営事情は各事務局によって異なりますが、相談員になるための養成講座受講料はすべて自己負担が基本。交通費も自前でお願しているような状況です。

相談員がいつでも電話の前に座り続けていることがどれほど人々の支えとなっているか…。心の拠り所である「いのちの電話」を絶やさないためにも、ぜひ運営支援にご協力ください。

●相談件数の推移（広島いのちの電話）



「いのちの電話」支援のしくみ

「いのちの電話」は無報酬による市民ボランティアから成り立っています。寄せられた寄付金は、24時間365日「眠らぬダイヤル」として、いのちを守るボランティア活動に活かされます。

〈ろうきん〉の各種サービスをご利用いただくことで、「いのちの電話」をはじめとする、社会活動に取組む団体を自動的に支援することができます。また、「広島いのちの電話」では個人単位(年間1口2,000円)・法人単位(年間1口10,000円)でも寄付を受付けています。

＼ 〈ろうきん〉を通して支援 ＼



「いのちの電話」へ寄付したい、
相談員になるにはどうしたら？という方はこちらへ

●鳥取いのちの電話
0857-29-6556



●島根いのちの電話
0852-32-5985



●岡山いのちの電話
086-245-4344



●広島いのちの電話
082-221-3113



●山口いのちの電話
0836-22-4344



※記載の電話番号は事務局につながります。
相談受付ではございませんので
ご注意ください。

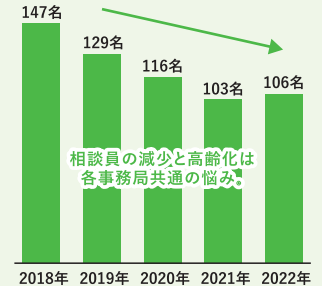
熱意のある相談員の育成が急務

24時間体制を維持するためには、最低でも200人の相談員が必要。しかし、相談員数は年々減少傾向にあります。

相談員を続ける原動力の1つは、電話相談のなかで心を震わせるような感動や出会いがあること。そしてもう1つは、相談員同士の繋がりです。落ち込むことがあっても、周りに聞き上手、支え上手な仲間がたくさんいることは、お互いの大きなモチベーションになっているといいます。

相談員になるには、1年間の養成講座を受講します。座学の外、電話相談にかかせない「傾聴」のロールプレイを十分行っただうえ、プロのサポートのもと、実際の相談へと移行していきます。

●相談員数の推移（広島いのちの電話）



[取材協力]

社会福祉法人 広島いのちの電話

事務局 082-221-3113(寄付に関するお問い合わせ)

相談受付 082-221-4343 24時間相談を受付けています。